

議会だより

2016

No. 112

くらて

6月定例会号

西川第一保育所 七夕飾り

おもな
内容

P2

ふるさと納税を拡大推進

P4

国保会計の累積赤字が減少

P5

その他の議案、行政報告

P6

知りたいこと望むこと～5人が一般質問～

6月
議会

6月定例会が開催されました

■平成28年度一般会計補正予算 2533万円を追加

●ふるさと納税推進費を追加

補正予算の概要

▼全員賛成で可決

本補正予算は、歳出で熊本地震の復興人的支援に伴う関連経費を追加するほか、ふるさと納税制度において、寄附金のクレジット決済を可能にするための委託料及び寄附金の積立金への追加、交付金事業の内示等があったことから関連事業費が計上されています。

歳入では、歳出側の事業費等の補正に伴い国庫支出金及び県支出金、寄附金、諸収入などの追加を行うとともに、今回の補正で不足する財源を、財政調整基金から繰り入れることにより予算が調製されています。

この結果、2532万8千円を追加し、予算総額は70億7720万2千円となっています。

主な質疑

問 ふるさと納税推進費の中の記念品は、どういったものを考えているのか。

政策推進課長

いま現在、記念品については、ぶどう、卵、イチゴとなっています。

今後、これにつきましては、町内の商工会やJAを通じて、町内にあります、例えば、肉の加工業者、その他、農産物等があれば拡大推進していきたいと考えております。

6月定例会のあらまし

6月定例会は、6月1日から14日までの14日間の会期で開催され町長から提案された、平成28年度一般会計等補正予算11件、条例の制定・改正6件、人事案件1件、その他の議案1件の19議案を審議しました。



を拡大推進





ふるさと納税

問 具体的には、ぶどう、卵、イチゴ以外には決まっていないのか。

料、寄附に対する手数料、その他管理費が委託料の内容となります。

年度途中にクレジット決済を導入され、4241件、約6100万円まで拡大しています。

政策推進課長 ある程度の想

問 ふるさと納税が少ない額であれば委託料を含めてかなりの経費が掛かりマイナスになるのでは。

定の部分はあるけれど、まだこれは生産者等には相談していませんので、この場では控えさせていただきます。

政策推進課長 近隣の自治体

また小竹町においても平成26年度72件で約340万円の納税額が平成27年度途中からクレジット決済を導入され、757件、約1690万円に拡大しています。

問 ふるさと納税委託料の内容は。

のふるさと納税の状況として、インターネットクレジット決済を導入された直方市、小竹町について説明しますと、直方市においては、平成26年度に15件、約260万円のふるさと納税額が平成27

政策推進課長

ふるさと納税

本町におきましては、納付書によるふるさと納税の手続きしかありませんので、納税の利便性が悪く、今後改善するように取り組みをしていきたいと考えます。

のインターネットサイトおよび返礼品発送の初期費用や毎月のサイト使用



▶ 鞍手町ふるさと便

質疑の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。
会議録は、鞍手町ホームページや議会事務局で閲覧できます。
※尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますので、ご了承下さい。

国保会計の累積赤字が減少

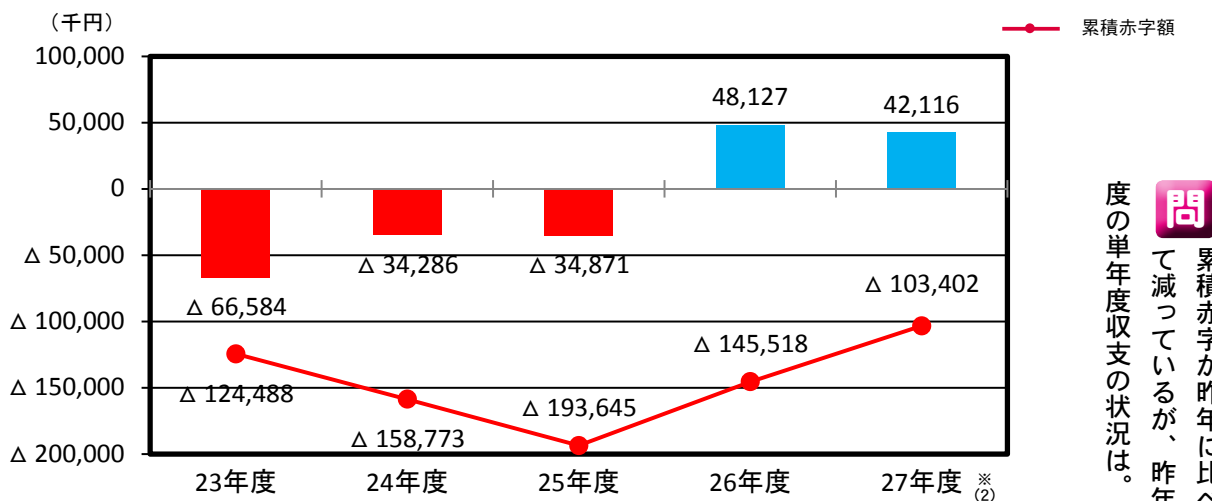
●専決処分の承認（平成28年度

国民健康保険事業特別会計補正予算）

▼全員賛成で可決



実質単年度収支額と累積赤字額の推移



主な質疑

問 累積赤字が昨年に比べて減っているが、昨年度の単年度収支の状況は。

保険健康課長

平成27年度

度の単年度収支は、一般会計からの法定外繰入分を入れない場合、724万4542円の黒字になっています。

一般会計からの法定外繰入を入れた場合、単年度収支は4211万5542円の黒字となり、累積赤字は1億340万2千円となります。

※(1) 「法定繰入」・「法定外繰入」とは

「法定繰入」は、一般会計から国保会計に財政安定、出産一時金等に充てられるものです。

「法定外繰入」は、自治体独自の繰り入れがあり主に保険税の負担を和らげ、決算の赤字を埋め、国の基準を超える検診などに充てられるものです。

※(2) 平成27年度は見込み額。

その他の議案

▼全員賛成で可決

○ふるさと応援基金条例

○重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

○学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

○平成28年度かんがい施設維持管理運営費特別会計補正予算

○平成28年度谷山池バイプライン水利施設維持管理運営費特別会計補正予算

○平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算

○工場等設置奨励に関する条例に基づき平成28年度固定資産税の課税免除

▼全員賛成で承認

○専決処分の承認 (行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部を改正する条例)

○専決処分の承認 (税条例等の一部を改正する条例)

○専決処分の承認 (国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

○専決処分の承認 (平成27年度一般会計補正予算)

○専決処分の承認 (平成27年度住宅新築資金等特別会計補正予算)

○専決処分の承認 (平成27年度流域関連公共下水道事業特別会計補正予算)

○専決処分の承認 (平成27年度かんがい施設維持管理運営費特別会計補正予算)

○専決処分の承認 (平成27年度谷山池バイプライン水利施設維持管理運営費特別会計補正予算)

○専決処分の承認 (平成27年度泉水団地改良住宅移設事業特別会計補正予算)

行政報告

●平成28年熊本地震に伴う鞍手町の対応について

平成28年4月14日と16

日に起こった熊本地震に

伴う鞍手町の状況と対応

は、14日午後9時26分頃、

熊本県熊本地方を震源と

する最大震度7の地震が

発生、鞍手町は震度3で、

直ちに災害警戒本部を設

置し、15日午前2時に解

散。

さらに、16日午前1時

25分頃熊本地方を震源と

する最大震度7の地震が

発生し、鞍手町は震度4

で、直ちに災害警戒本部

を設置し、午前2時過ぎ

より中央公民館に避難所

を開設しました。

避難所開設の周知は、

防災メールに登録、各区

長、関係機関及び報道機

関に連絡、防災行政用無

線で町内一斉放送や町の

ホームページ等により周

知を行いました。

午前8時より関係課に

よる公共施設の緊急点検

を行いました。

17日午前9時に自主避

難者が帰宅され、午前10

時に災害警戒本部を解散

しました。

自主避難者は、3世帯

3人の方が、中央公民館

に避難されました。

地震に伴う被害は、町

内において大きな被害の

連絡は入っていません。

公共施設においても、

異常はありませんでし

た。

熊本への義捐金として

一般会計の予備費から

200万円を支出し、人

的支援としては、5月9

日に職員3名を熊本市

に、5月13日から15日ま

で職員2名を熊本県益城

町に派遣したと町長より

報告がありました。

陳情

未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情

●陳情者

兵庫県神戸市灘区

中郷町3丁目5-

4

任意団体 Kids Voting Japan

代表 寒川友貴

陳情1件が不採択となりました。



知 り た い に と 望 む に と

5人が
一般質問

1. あじさか しょうじ 鯨坂 省治 議員 7
 - ・若者定住対策について
 - ・生活支援について
2. くまい てるあき 熊井 照明 議員 8
 - ・災害弱者への対応について
 - ・役場機能を喪失した場合の対応について
 - ・災害時における食料等の備蓄について
 - ・直轄広域消防本部や消防各出張所等建物の耐震について
3. おかざき くにひろ 岡崎 邦博 議員 9
 - ・震災に対する備えについて
 - ・地域福祉総合計画について
4. うたがわ あきら 宇田川 亮 議員 10
 - ・子どもの貧困化について
 - ・中学校跡地を含む公共施設の利用について
5. たけうち りいち 竹内 利一 議員 11
 - ・鞍手町の過去・現在・未来について



一般質問とは、町長から提出された議案以外に、行政に対する疑問点について質問することです。一般質問の内容、答弁は質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。

質問の全文は、鞍手町ホームページや議会事務局で会議録を閲覧できます。※尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますので、ご了承下さい。

問 新婚家庭への家賃補助対応は？

町長

「平成29年度実施に向けて調査研究をしています」

問 若者の新婚での定住対策としての、今後の具体的な検討は。

町長

この中で、鞍手町への新しいひとの流れをつくる、つまり鞍手に住んでいただくということや、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるという、そういったことのために、現在実施しています。定住促進奨励金の交付事業に加えて、新婚世帯や子育て世帯への家賃の補助、そしてまた

町長

昨年度に策定いたしました「第5次鞍手町総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、移住・定住の促進や安心して子どもを生み、また育てる環境をつくるための様々な施策を掲げ

いたたくということや、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるという、そういったことのために、現在実施しています。定住促進奨励金の交付事業に加えて、新婚世帯や子育て世帯への家賃の補助、そしてまた



▶子育て家庭等の定住促進を

生活支援について

問 ※子どもの支援食堂の現在の状況と今後の取り組みは。

対して助成を行うという自治体が出て来ています。私自身、素晴らしい取り組みとしてその必要性を感じています。本町におきましても、町民有志等で設置の機運が高まってきましたら、子どもの貧困対策の一環として助成や会場の提供等、何らかの支援を行っていきたいと考えています。

町長

北九州市が全国初の自治体設置を行うというテレビ報道がありました。全国的には、ボランティア団体やNPO法人等が主体となり、現在取り組まれているようです。

福岡市を初めとして、当該団体等の取り組みに



▶さまざまな事情を抱えた子どもたちを救う場として注目される「子ども食堂」

※「子ども食堂」とは経済的な理由で食事を満足に取れなかったり、親が忙しくて一人で食べたりしている様々な事情を抱えた児童生徒に、食事提供する地域のボランティアや子育て支援等に携わる大人が運営に参加。

問

貧困の世帯の子どもに対する学習支援は。

教育長

鞍手中学校敷地内の実習棟で、夏期講座の一部とかができないかということ、北九州予備校の理事長と話したことがあります。お金がかかることから検討していますが、町長と話を進めているところです。



鯨坂 省治 議員

民間賃貸住宅の建設に対する助成、これもいま行政内部で計画を練っています。具体的検討策については、平成29年度実施に向けて、いま研究、調査をいろいろやっているところです。しかるべき時期が来ましたら、また議会の方にお諮りしたいと考えています。



ハザードマップには、福祉避難所の表示がない。皆さんに周知すべきでは？

町長 「広報等を通じ周知徹底します」



熊井 照明 議員



▶福祉避難所指定「総合福祉センター」

問 福祉避難所として指定されている場所は。

総務課長

鞍手町社会福祉協議会と協定書を締結し総合福祉センターを福祉避難所として指定しています。

※「福祉避難所」とは災害発生時に既存の建物を活用し、介護の必要な高齢者や障がい者、妊産婦など特別な配慮を必要とする人を受け入れる避難所のこと。

役場機能を喪失した場合の対応について

問

本町の庁舎が機能害対策だけでなく行政の基本となる情報を失えば、非常に困難を伴うことになる。情報のバックアップ体制はどのように。

総務課長

地震対策のため、電算室を移転しています。戸籍、住民情報は、毎夜自動バックアップ処理を行い、複数の媒体に分散保管。住民情報データは、月に1回委託業者のデー

タセンターに記録媒体の保管を依頼し、戸籍データは毎夜、北海道の法務省管轄のデータセンターに副本データを電送しています。本年9月からは、委託業者が管理するデータセンターにサーバの大半を移設しデータとシステムの保全を図る計画です。

問

地震等で庁舎が使用不能になった場合の拠点の想定先は。

町長

その時の状況により、中央公民館か総合福祉センターを想定しています。

災害時における食料等の備蓄について

問

震災対策として食料や水の備蓄状況と、今後の計画は。

町長

現在、備蓄はありませんが、

今後計画的に進めていきます。不足することも考え、スーパーやコンビニとの契約も考えています。

直轄広域消防本部や消防各出張所等建物の耐震について

問

人命救助等の拠点である消防本部、出張所の建物は、耐震構造になっているのか。

政策推進課長

消防本部、鞍手出張

所、若宮出張所は耐震化が図られています。小竹出張所は新耐震基準を満たしていません。

問

救助の拠点になるので、1市2町の首長会議で小竹出張所の件、検討いただきたい。

町長

執行部である首長の集まりで、こういう話が出たというのを伝え、広域議会において話をしたいと考えます。



▶熊本地震で被災した自治体庁舎



岡崎 邦博 議員

問

役場庁舎の耐震診断は？

町長

「耐震診断をすると数百万円かかるため、経費の無駄使いとの思いで行っていません」

問 鞍手町で地震が起こった時の初期対応は。

町長 本庁が崩れた場合は、中央公民館か福祉センターに緊急対策本部を立ち上げ、状況に応じた処置を行います。

問 食料、水の備蓄はないとのことだが、仮設トイレや非常用発電機、発電機を動かす燃料などの備蓄は。

町長 完備していません。

問 役場は地震が来れば壊れやすいと町

役場庁舎が被災し、機能不全となった際に被災による業務と日常の業務を福祉センターや中央公民館で継続してできるのか。

問 27年5月に内閣府政策統括官で防災担当の方から都道府県知事に市町村のための業務継続計画の作成を要請されているが、県からの要請はあったのか。

総務課長 電算のLANがつながっているの、電算の対応は可能だと考えます。

問 耐震診断をすると数百万円かかるため、経費の無駄使いとの思いで行っていません。

町長 耐震診断をするまでもなく、耐震診断をすると数百万円かかるため、経費の無駄使いだこの思いで行っていません。

問 県からの要請はあつて

総務課長 県からの要請はあつて

問 業務継続計画の作成について指導があつているので、地域防災計画とともに業務継続計画も早急に策定したいと思

総務課長 業務継続計画の作成



▶地震の際に、倒壊が心配される役場庁舎

地域福祉総合計画について

問 計画推進のためには住民の理解が不可欠だと思ふが。

福祉人権課長 ダイジェスト版の配布と、区長会、民生委員児童委員協議会に協力をお願いし、またサロンなどの集まりに出向いて説明をしたり、講演会等を開くなどして理解を深めたいと考えています。

問 計画実行の重要強化項目として、28年度は福祉拠点の設置、助け合い推進委員の要請、ケアシステムの構築など5項目あるが、実施の目的は。

福祉人権課長 社協と地域包括センターとで連携し、協議を行っています。

問

子どもの貧困化の対策は？

町長 「国の補助金等も活用しすすめていきます」



宇田川 亮 議員

問 貧困状態にある子どもが、厚労省の調査で6人に1人となっているが、鞍手町は。

福祉人権課長 当町では約5人に1人の子どもが貧困状態、又はそれに近い状態だと考えられます。

問 横浜市が行ったような調査方法も取り入れ、数字的なものだけでなく、鞍手町の子どもがどのような環境にあって、どのような状況におかれているのかを調



▶子どもたちの将来のため、必要な環境整備と教育の機会均等が望まれる

査し、何を必要としているのかを把握するべきです。

町長 調査方法も含め、今後内部協議をやって考えていきます。

問 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」では、貧困の状況にある子どもに対する経済

的支援のために必要な施策を講ずるとあります。国からどういう経済的支援が受けられるのかというのも含めて研究し、対策を講じていただきたいが。

町長 国の補助金等も有効に活用し、この事業をすすめていきたいと思っています。

公共施設の利用と整備方針について

問 現在、折尾愛真高校に町の公共施設を貸与しています。これにより、土曜・日曜などは町外から多くの方が来られていますが、ここだけに限ったことではなく、町内には様々なジュニアチームもありますし、中学の部活動も好成績をあげています。多くのOB、OG、優れた指導者が鞍手町にはおられます。

町長 第5次総合計画や都市計画マスタープランについてもそつですが、いま総合的にまちづくりをどのようにやっていくのか、鞍手町全体のデザインをどうするかという計画を作っています。そういった意見も踏まえながらまちづくりの一環に寄与する、いろいろな事業を考えていきたいと思っています。

するなど、大きな方針を立てて公共施設の整備を行ってほしいが。

町内のチームが大会や練習試合を行うだけでなく、町外から何百人と来られます。鞍手町をもっと活気づけ、スポーツを通じた青少年育成をすすめるためにも、宿泊施設も含めた整備を



▶総合的なまちづくりを推進



竹内 利一 議員

問 来年の町長選挙は？

町長

「継続事業は、まだ10年は掛かります。しっかりとやって行きたいと考えています」

問 鞍手町の3村合併の昭和30年で

炭鉱のあった時は人口3万794人、平成7年2万2000人。現在が1万6千人程となっています。2040年には、町の施策により1万2千人程になる予想だが、これについて、どのように考えているのか。

町長

2040年問題で、鞍手町が消滅都市としては県内ワーストワンと、何もしなかつたら消滅します。今、色々な施策として、L字ライン構想、駅前周辺、インターチェンジ横の開発を積極的にやっています。人口はここ7〜8年は右肩下がりに

なると思いますが、色々な施策を打っているのが、功を奏して来れば、逆にV字回復を考えています。また、鞍手の発展如何によつては、新幹線筑豊駅も不可能ではないと考えています。

問 町長が行った施策過去(就任後)現在・未来は。

町長

①子育て支援と教育の振興として風しんワクチンの無料化。小学校6年生まで医療費無料化。本年度10月から中学3年生まで医療費の無料化拡大、中学生バス通学の運賃の補助、部活の助成制度。



▶くらて学園 (学校まるごとアニメ事業)



▶すまいるバス導入



▶くらて病院



▶剣岳公園からの眺望

②雇用促進として西区用地に企業4社誘致。旧南中学校跡地を、くらて学園(学校まるごとアニメ事業)

③地場産業の活性化として中小企業向けのインターネットショップ開設補助、鞍手企業塾セミナーの実施。

問 来年の町長選挙は。

④自然環境と文化財の整備として剣岳公園の景観整備。これは地元の皆さん方のお陰であります。平成32年度までに、くらて病院の建て替え。町のフェイスブックを行って発信力を高めました。財政健全化として、税金、水道料金のコンビ二収納化。かんがい基金の運用で約3億1300万円程の利益を出しました。

町長

私の任期は来年の1月までですが、事業は継続中です。いま私が途中で投げ出すようなことは絶対やってはいけないと思っています。まだ10年は掛かりますので、やりきれるまでしっかりとやっていきたいと思えます。

表紙の紹介 西川第一保育所 七夕飾り



小さい子どもたちは、手形やシール貼り、大きい子どもたちは、輪つなぎやおひ姫さま、ひこ星さまの七夕飾りを笹の葉に飾りつけしました。

「わたしの願いが、かないますように」とお願いしながら短冊もつけました。

7月7日できあがった七夕飾りの前で「♪ささのはさ～らさら・・・♪」とみんなでたのしく歌いました。

西川第一保育所所長

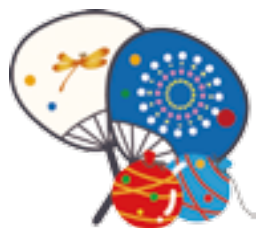
議会を傍聴しませんか

議会はだれでも一般質問・議案質疑を傍聴できます。受付は、当日に議会事務局で行います。

また一般質問を傍聴する方の希望に応じ、手話通訳者を派遣しています（無料）。これには事前予約が必要です。

■問い合わせ 議会事務局
☎42局 2111 番（内線 331）

（次回は、9月議会です。）



新しい人事

固定資産評価審査委員の選任に同意

固定資産評価審査委員の坂田正明氏の任期が、平成28年6月9日で満了するため、再度同氏を選任することに同意しました。



坂田 正明 氏（67歳）

現住所
新北1277番地3

任期
平成28年6月10日から
平成31年6月9日まで

編集後記

議会初日に熊本地震で亡くなられた方々に対し、ご冥福を祈るため黙祷をささげ哀悼の意を表しました。余震は現在もなお続いています。各関係機関やボランティアによる復旧活動が続けられ、被災された方々の仮設住宅への入居も始まったとニュース等で伝えられています。

九州北部は梅雨明けしましたが、「災害は忘れた頃にやってくる」という、ことわざもあります。「災害」や「熱中症」に十分注意しましょう。

（熊井 照明）

発行責任者 編集スタッフ

発行責任者	星 正彦
会議議長	星 正彦
委員長	須山 由紀生
副委員長	竹内 利一
委員	熊井 照明
委員	須藤 信一郎
委員	須藤 敏夫